



概要

市街地から離れた山間の過疎地で、少子化・高齢化、モータリゼーションが進む四賀地域において、地域住民が安心して、自立的に日常生活を過ごしていくための公共交通を整備・維持するため、交通事業者や行政の努力だけで公共交通の整備や維持を行うのではなく、地域住民が「公共交通の担い手である」ことを理解し、住民、交通事業者、行政が協力して、それぞれの役割を果たしながら、四賀地域総合連携計画に基づいた事業を実施します。

○市営バスの実証運行及びそれに伴う事業

①市営バスの実証運行

地域内の移動需要に対応するため、路線定期運行基本としながら、需要量や移動特徴を勘案した路線不定期運行や区域運行なども視野に入れた実証運行を実施する。

②運行の周知、啓発、実証運行に関わる評価・検証

○民間公共交通機関の活用と改善に向けた事業及びそれに伴う事業

①四賀線の運行経路やダイヤなどの改善

②廃止代替策としてバスを運行

・会田線

③一定期間における乗降調査による評価・検証

○公共交通の利便性を向上させるための事業

①交通結節点におけるパークアンドライド駐車場の整備

②待合所・駐輪場等の施設整備の検討

